

款	農林水産業費	項	農業費				
事業名	そばまつり事業						
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興						
施策の内容	5 特産物の生産振興						
H26決算額	3,302千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						3,302千円	

【事業の概要】

新治地区は、常陸秋そばの生産が盛んな地域であり、そばの品評会においても表彰を受けるなど、高品質なそばの産地となっています。

この土浦産常陸秋そばを広く市内外にPRし、消費拡大と地域振興を図るため「土浦そばまつり」を開催しました。

◎平成26年度「第2回土浦そばまつり」開催結果

- ・開催日時 平成26年11月8日（土）午前10時～午後3時
- ・開催場所 新治地区公民館前駐車場
- ・開催実績 来場者 約5,000人
- ・出店数 そば提供出店 6店舗（2,325食）
そば関連商品販売、飲食店舗等 9店舗（2,584食）



そば打ち実演



新治中学校吹奏楽部の演奏



来客の行列



飲食・休憩テントのにぎわい

【事業の成果】

「土浦そばまつり」には5,000人規模の来場者があり、「土浦産常陸秋そば」の認知度を高めることができました。また、「土浦市花の展覧会」と「土浦市環境展」を同日に開催したことで相乗効果が生まれ、市民等の交流の場が創出され、より盛大に開催することができました。

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	農産物地域特産化推進事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	5 特産物の生産振興					
H26決算額	162千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 162千円

【事業の概要】

筑波山麓から霞ヶ浦にかけて水と緑に恵まれた環境を生かし、市内で育まれた農産物について、生産者の創意工夫を基に、地域ブランドとして付加価値を高めて、市外の農産物との差別化を図ることにより、効率的かつ安定的な農業経営の強化と消費者の信頼の向上を図ります。

◎平成26年度 土浦市農産物ブランド化推進協議会の開催

平成26年11月21日（金），12月19日（金），平成27年1月30日（金），2月27日（金） 計4回

- ・「土浦ブランド農産物」のブランド化の検討
 - ・ブランド農産物認証等の手続方針の検討
 - ・ブランド農産物の展開方針の検討
- 以上を取りまとめ、協議会で報告書を作成しました。

「土浦ブランド農産物」のビジョン：

土と水の豊かな土浦でとれた農産物をみんなで食べる、
生産者と消費者が共によろこび、笑顔になる。
その結果認知が上がっていく。
そして、元気がでる、誇れる農業になっていく。
それを聞くのが夢。

農産物ブランド化のイメージ図



【事業の成果】

土浦市農産物ブランド化推進協議会で土浦市産の農産物のブランド化について協議を行い、その結果を報告書に取りまとめました。

これを基に「つちうらぶらんど」としての認証制度を定め、ブランド農産物の認証を進めるとともに、イベントや各種メディアを通じた情報発信を行い、ブランド農産物のPRと販売と販路拡大に取り組んでいきます。

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	田んぼアート事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	6 都市と農村の交流					
H26決算額	1,627千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 1,627千円

【事業の概要】

自然豊かな農村の水田に、白・黄・黒・緑の発色の異なる4品種の稲を植え付け、絵を制作する「田んぼアート」を都市住民と地元住民が協働して行い、都市住民の農業への理解を深めるとともに都市と農村の交流を推進します。

「田んぼアート」は、小町の里周辺の観光資源として活用し、地域の農業の活性化を図ります。

◎平成26年度実績

- ・田植え体験会 平成26年 6月 8日（日） 参加者79人
- ・鑑賞会開催 平成26年 8月23日（土） 来場者約600人
- ・稲刈り体験会 平成26年10月12日（日） 参加者64人
- ・アンケート調査 平成26年11月22日（土） 回答192件
（「小町ふれあいまつり」の来場者を対象に実施）



田植え体験会



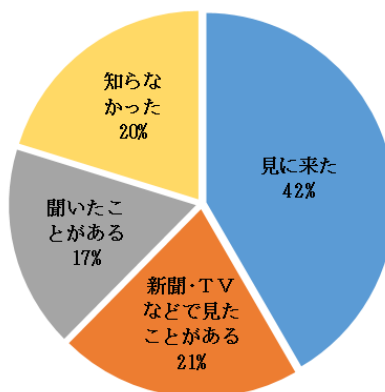
「田んぼアート」見ごろ
(7月中旬～9月上旬)



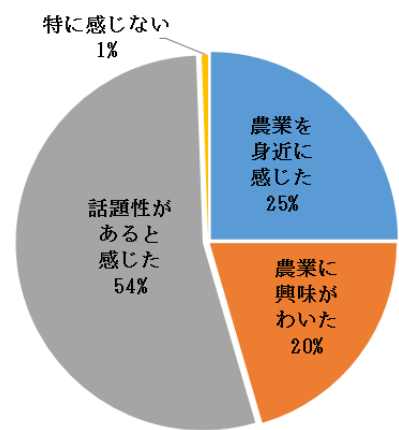
鑑賞会



稲刈り体験会



「田んぼアート」の認知度



「田んぼアート」を見聞きした後の農業(稲作)の感じ方

(「小町ふれあいまつり」での「田んぼアート」のアンケート調査結果)

【事業の成果】

「田んぼアート」は、平成26年度の新たな取組として、農業者や地元住民が組織する「土浦市新治地区都市と農村の交流事業推進協議会」へ委託し実施しました。

田植えや稲刈りなどの農作業の体験会を通じて、都市と農村の交流を図ることができました。また、鑑賞会の来場者数やアンケート調査の結果から「田んぼアート」に寄せる関心や期待が大きいことが分かり、観光資源としての利活用も期待されます。

今後も、都市と農村の交流を深め、地域の活性化、農業の振興に寄与できるように工夫を重ねていきます。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	県営ほ場整備事業（手野地区，坂田地区）					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全					
H26決算額	115,880千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				86,400千円		29,480千円

【事業の概要】

農道及び用排水路の整備や，区画整理などの基盤整備を実施し，営農の省力化を図り生産性の高い農業基盤を確立するとともに，地域の振興と農業生産基盤の整備を図りました。

◎手野2期地区

- 事業主体：茨城県
- 事業期間：平成18年度～平成27年度
- 総事業費：1,452,100千円
- 事業内容：整地工 38.5ha
道路工・排水路工・揚水機場 2か所
- 整備済面積：38.5ha

[平成26年度事業費] (単位：千円)

区分	事業費	概要
負担金補助及び交付金	6,050	県営事業負担金
委託料	1,200	実施設計委託
工事請負費	19,785	歩道設置工事
公有財産購入費	81,805	用地取得
合計	108,840	

県営ほ場整備事業

- ・道路工（舗装） L = 750m
 - ・排水路工 一式
- 市単独事業費
- ・歩道整備工 L = 746.5m
 - ・用地取得（基金買戻し分） A = 6,000m²



位置図（手野）



整備箇所（手野）

◎坂田地区

- 事業主体：茨城県
- 事業期間：昭和61年度～平成26年度（事業完了）
- 総事業費：1,010,000千円
- 事業内容：区画整理工 33.6ha
道路工 L = 7,269m
排水路工 L = 8,743m
- 整備済面積：33.6ha

[平成26年度事業費] (単位：千円)

区分	事業費	概要
負担金補助及び交付金	7,040	県営事業負担金
合計	7,040	

県営ほ場整備事業

- ・幹線道路舗装工 L = 33m
- ・支線道路舗装工 L = 1,688m



位置図（坂田）



整備箇所（坂田）

【事業の成果】

ほ場を整備することにより農業生産基盤の充実を図り，農地利用の集積と生産性の向上及び経営規模の拡大に寄与しました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	一般地帯土地改良事業（農道・かんがい排水事業）					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全					
H26決算額	81,382千円	財源内訳	国県支出金 6,573千円	地方債 46,800千円	その他	一般財源 28,009千円

【事業の概要】

農業振興地域の農道及び水路の環境整備により、遊休農地の解消に努めるとともに、営農効率を高め、農業経営の安定を図りました。

○農道整備

- ・農用地区域の道路延長 約357km
平成26年度までの整備延長 195.1km（約55%）

○かんがい排水整備

- ・農用地区域の整備延長 約93km
平成26年度までの整備延長 18.2km（約20%）

[平成25年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	3,430	常名2期地区
工事請負費	7,031	常名2期地区
合計	10,461	



農道改良箇所

[平成26年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
需用費	1,459	排水路修繕等
委託料	8,464	測量、実施設計委託
工事請負費	60,013	手野谷原地区外
公有財産購入費	985	手野谷原地区
合計	70,921	



農道舗装箇所

- ・農道改良工 2地区 L=260m
(手野谷原地区, 虫掛地区)
- ・農道舗装工 10地区 L=810m
(手野谷原地区, 今泉地区, 小野地区, 永井地区, 田村地区, 大志戸地区, 菅谷地区, 常名地区, 栗野地区, 木田余地区)
- ・排水路整備工 4地区 L=474m
(手野地区, 常名2期地区, 田中地区, 田中2期地区)



かんがい排水整備箇所

【事業の成果】

農道及び水路の整備によって大型機械の進入が可能になり、営農効率の向上に寄与するとともに、遊休農地の解消を図ることができました。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

事業名	鶴沼公園施設維持管理事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全					
H26決算額	1,571千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 1,571千円

【事業の概要】

農業用ため池としての機能を確保するとともに、地域住民の憩いと安らぎの場を提供するため、防犯灯を設置しました。

[平成26年度事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	1,571	ソーラー防犯灯1基他
合計	1,571	



防犯灯設置箇所



【事業の成果】

防犯灯を追加設置することにより、安心して安全なまちづくりに寄与するとともに、地域住民の憩いと安らぎの場としての公園の利用促進につなげることができました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	プレミアム付商品券補助事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	5 消費者ニーズに対応した商業の振興					
施策の内容	1 商店街活性化の推進					
H26決算額	20,418千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 20,418千円

【事業の概要】

消費者の利便性向上を図るとともに、市外への消費流失防止や、市内商業の発展と振興を図ることを目的に、土浦商工会議所が主体となり発行した額面3億3千万円（1割のプレミアム分を含む。）の商品券について、商品券の発行に係る経費（1割のプレミアム分、印刷費、PR費等）の一部を補助しました。

◎補助対象事業費内訳

商品券発行額 330,000千円（1,000円券8枚、500円券6枚の計14枚つづり×3万セット）
※1,000円券4枚は、大型店でも使用可能
プレミアム補填 15,000千円（プレミアム分30,000千円の2分の1）
事務費 5,500千円（商品券印刷・広報PR）

◎平成26年度実績

第17期
期間 平成26年7月1日（火）～平成26年10月31日（金）
発行額 165,000千円

第18期
期間 平成26年12月1日（月）～平成27年3月31日（火）
発行額 165,000千円

取扱店 578店（第17期） 583店（第18期）

【決算額内訳】

（単位：千円）

区分	金額	概要
プレミアム補填分	14,918	プレミアム付商品券回収分に対するプレミアム補填分
事務費	5,500	商品券印刷・広報PR
合計	20,418	



プレミアム付商品券チラシ



第18期プレミアム付商品券



販売所及び加盟店用のぼり旗



【事業の成果】

事業開始時は、商品券の完売までに約1か月間を要していましたが、1割のプレミアム付商品券のPR効果もあり、最近では数日で完売するなど人気が高まっています。

平成26年度の換金実績を見ると、経済の低迷や郊外大型店舗の出店が進む厳しい商業環境の中にあっても、個店での利用割合が82%、大型店での利用割合が18%と、市内の個店及び専門店での利用者が多く、市外への消費流失防止と市内での消費の拡大につながりました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	企業誘致事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	6 創造性と技術力のある工業の振興と企業誘致					
施策の内容	1 企業誘致の推進と優遇制度の充実					
H26決算額	69,139千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 69,139千円

【事業の概要】

1 工業団地PR

市内の工業団地に企業の立地を促進し、工業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的として、茨城県が大都市にて開催する工業団地立地説明会等に参加し、市内工業団地のPRを実施しました。

・いばらき産業立地セミナー I N大阪

開催日：平成27年2月10日（火） 参加企業：80企業 来場者数：122人
内容：市内工業団地及び観光のPRブースを設置しました。

2 企業立地促進奨励金

市内の工業専用地域、準工業地域及び東筑波新治工業団地に新設又は増設をする法人で、新增設に伴い新規採用により従業員数が5人以上増加したものに対して、奨励金として固定資産税相当額を3年間交付しています。

[平成26年度奨励金交付実績]

(単位：千円)

No.	企業名	金額
1	S・T e cフーズ(株)	7,407
2	(株)フルヤ金属	1,963
3	日立セメント(株)	39,044
4	三協フロンテア(株)	6,217
5	(株)精工	14,367
合計		68,998

[市内工業団地分譲状況]

(単位：ha)

工業団地名	総区画	未分譲
土浦おおつ野ヒルズ	12区画(21.6)	4区画(11.0)

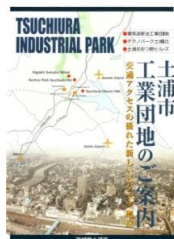
3 企業等立地に係る調査研究

先進的な取組を実施している自治体の事例研究を基に、新たな企業誘致制度について検討しました。

[決算額内訳]

(単位：千円)

区分	金額	概要
企業立地促進奨励金	68,998	S・T e cフーズ(株)他4社
旅費等	141	企業立地促進先進市視察、産業立地セミナー
合計	69,139	



企業誘致パンフレット



土浦おおつ野ヒルズ



産業立地セミナー

【事業の成果】

県外での産業立地セミナーへの参加等により、本市及び市内工業団地を広くPRした結果、残り1区画となっていた東筑波新治工業団地においては完売となりました。

款	商工費	項	商工費				
事業名	中心市街地にぎわい創出事業						
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
施策名	5 消費者ニーズに対応した商業の振興						
施策の内容	1 商店街活性化の推進 3 空き店舗対策・起業促進 4 食のまちづくりの推進 5 まちづくり機関の充実						
H26決算額	50,902千円	財源内訳	国県支出金 511千円	地方債	その他	一般財源 50,391千円	

【事業の概要】

商店街活性化支援事業 15,535千円

◎中心市街地開業支援事業

中心市街地の空き店舗を活用し、主に昼間営業を行う物販・飲食・サービス業、事務所・学習塾などを新たに開業する際に、家賃の一部を補助しました。

交付決定件数 7件（創業6件、支店開設1件）

◎食のまちづくり事業

土浦市の食の歴史・地域資源を利活用し、オリジナルカレーの普及・開発を図るとともに、カレーフェスティバルを開催し、カレーのまち土浦を全国にPRしました。

[第11回土浦カレーフェスティバル開催状況]

平成26年11月15日（土）・16日（日） 川口運動公園 79店舗 来場者8万人（2日間合計）

◎ジャズフェスティバル開催事業

中心市街地の商店街が実施主体となり、商店街の活性化とまちなかのにぎわい創出のため開催する「ジャズフェスティバル」への支援を行いました。

[サウンド蔵土浦2014開催状況]

平成26年9月14日（日）モール505滝の前広場 来場者650人

◎まちなか交流ステーション事業

学生などに対して学習スペースや市民有志の集まりや商店会の打合せなどに使用される会議室、レンタサイクルの受付、来街者へのまちなかの情報提供などを行いました。

来館者 9,392人



食のまちづくり事業



ジャズフェスティバル開催事業

まちづくり機関支援事業 32,448千円

◎まちづくり活性化バス運行支援事業

中心市街地の商業活性化、集客力・来街機能、生活環境の向上を図るため、まちづくり活性化バス「キララちゃん」の運行支援を行いました。

平成26年度利用者数 158,666人

(1日平均434.7人 1便平均10.4人)



まちづくり活性化バス

◎まちなか元気市開催事業

中心市街地の後援・駐車場などの都市空間を会場に、地元商店街等と協働により、食のまちづくりの取組や音楽・ダンスなど市民参加型のイベントを開催し、中心市街地のにぎわいを創出しました。

[開催状況]

第22弾 平成26年4月20日(日) モール505
 来場者 約30,000人
 かすみがうらマラソン ランナーズヴィレッジ(選手村)として開催。つちうら珈琲屋物語事業者部会・モール505商店会・茨城県内外の名産品等の出店、カレーフランクのポトフ大鍋(約3,000食)、足湯、お雛子の競演などを実施



まちなか元気市開催事業

第23弾 平成26年9月14日(日) まちかど蔵駐車場
 来場者 約2,000人
 中城周辺商店会と協働による「100円商店街・双六商店街」を実施

◎まちなか賑わい彩り・活き活き鯉のぼり事業

中心市街地の商店街や公園などの都市空間を活用し、商店街との協働によりフラワーポットや鯉のぼりを設置し、まちなかを季節の彩りで演出を施し、にぎわい創出に努めました。

◎まちなかドリンクラリー事業

飲食店事業者・商店会のネットワーク化により、おもてなしの機運醸成を図るとともに、土浦駅周辺に加えて、神立駅・荒川沖駅周辺飲食店にもエリアを拡大して実施し、まちなかのにぎわいを創出しました。

[第4回まちなかドリンクラリー開催状況]

開催期間 平成26年10月12日(日)～10月18日(土)
 参加飲食店82店、チケット販売組数438組



まちなか活き活き鯉のぼり事業



まちなかドリンクラリー事業

【事業の成果】

事業者・NPO・関係団体及び市民との協働により、「土浦市中心市街地活性化基本計画」の基本方針「人がまちにすまう」「人がまちをいきかう」「人がまちをつくる」に基づく諸事業を推進し、中心市街地のにぎわい創出に寄与します。

平成26年度は、中心市街地の空き店舗の解消並びに歩行者通行量の増加などのため「中心市街地開業支援事業」を新設し、中心市街地で開業する事業者に対し家賃補助を実施し、にぎわい創出に努めました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	霞ヶ浦観光にぎわい事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興					
施策の内容	4 観光行事の充実					
H26決算額	3,448千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 3,448千円

【事業の概要】

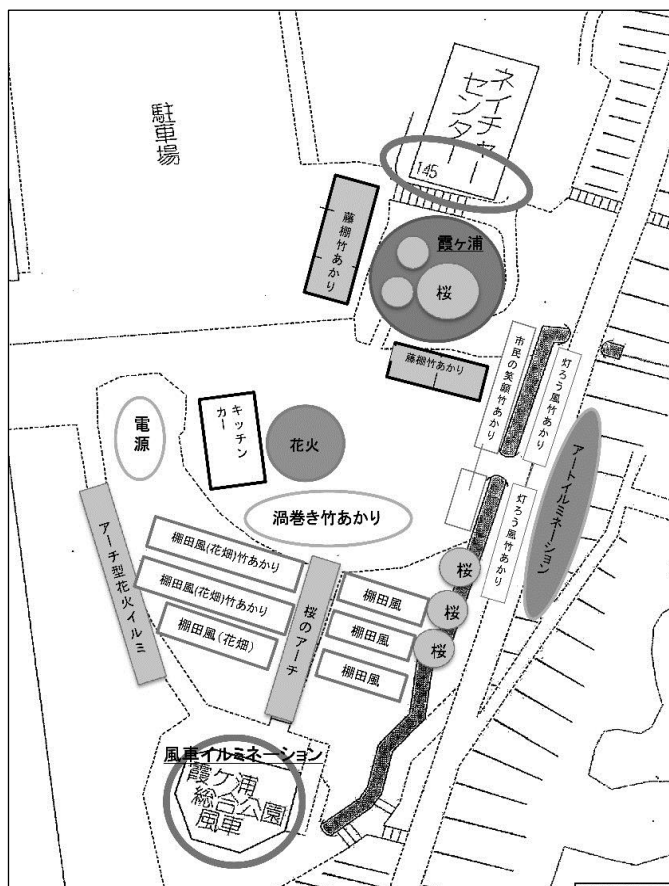
平成24年度から水郷桜イルミネーション推進委員会が実施する「光がつくる“Art”水郷桜イルミネーション」事業に合わせ、霞ヶ浦総合公園のシンボルであるオランダ型風車にイルミネーションを設置し、冬の夜景を彩ることで、霞ヶ浦総合公園のにぎわいの創出と、市のイメージアップを図りました。

○水郷桜イルミネーション実施期間 平成26年12月6日（土）～平成27年2月28日（土）
点灯時間 午後4時30分～午後9時

○風車イルミネーション設置委託 2,851千円
仮設電源設置工事 597千円



イルミネーションの様子



配置図

【事業の成果】

全国的にも珍しい風車の羽が回転しながら点灯する、オランダ型風車イルミネーションを中心とした「水郷桜イルミネーション事業」は、平成26年度はアーチ型花火、水辺を活用したハス田、筑波山・桜川をイメージしたイルミネーションの新設など事業を拡大したところ、広くテレビ報道等でも取り上げられ、本市のイメージアップに貢献しました。

来訪者数は前年度の51,600人から101,650人と大幅に増加し、イベント期間中はキッチンカーなども登場して大変なにぎわいを見せました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	第83回土浦全国花火競技大会事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興					
施策の内容	4 観光行事の充実					
H26決算額	72,820千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 72,820千円

【事業の概要】

期日：平成26年10月4日（土）
 場所：桜川畔学園大橋下流付近
 種目：スターマインの部：22台， 10号玉の部：45発， 創造花火の部：22組

全国有数の煙火業者（20都道府県56業者）の出品による花火競技大会を開催することで、我が国の煙火技術の向上を図るとともに、多くの観客の誘致による、本市の観光事業及び商工業の発展に寄与することを目的に開催しています。

[平成26年度事業費]
 花火大会事業補助金 66,209千円
 係員時間外手当 6,611千円



「花火師登場！」



ワイドスターマイン



10号玉



創造花火



スターマイン

【事業の成果】

大会当日は天候にも恵まれ、約70万人の観覧客数となりました。新たな趣向として、様々な種類の花火を解説付きで打ち上げる「レクチャー花火」や、全国から参集した花火師を栈敷席に向けライトアップし、紹介する企画「花火師登場！」を実施したところ大変好評を頂きました。また、大会においては、日本一の技を競い合う競技花火のみならず、毎回好評を得ている大会提供花火ワイドスターマイン「土浦花火づくし」、エンディングには7号玉83発を打ち上げ、大会全体の魅力向上に努め、本市のイメージアップに寄与しました。